

## 労働組合戦線統一方針

### 一、労働組合戦線統一の戦線統一方針

歐米における資本主義が一應其の機構を完成したる後、其の刺戟によりて急速に封建制より資本主義に移行したる吾國資本主義には多くの封建的要素が残され、労働者の強度の搾取の上に資本主義の發達の基礎を奠いた。かゝる情勢の中においては、その發達の初期に於てすら労働組合の如き自由主義的要素を持つもの、一切が排除せられた。

かゝる中に於て發生したる吾國労働組合は、政治的（社會主義的）運動によつて發達せられ發達したるものである。従つて其の運動は政治運動の動きに刺戟され左右せられ、労働者の端緒的要求の結合體たる労働組合が政治的動きにつれて分裂し來たのである。

然し資本主義が第三期に突入してゐる現在においては労働者の多くの要求の一つ一つは、政治的要求と密接に關連し、其の闘争をやが上にも必要とし、無産政黨と結合せる強力なる闘争はまず、要求せられるであらう。従つて労働組合の戦線を統一する上において政治的意見、政黨的立場も無視すべからざるものとなるのである。

の活動よりも、俱樂部日體の擴大を計かつてゐる。其の活動は疑問として往目的標となつてゐる。

こゝに言ふまでもなくファツシヨ的労働組合は其の終局において自ら労働組合を否定するところに到達し、結局資本主義の支柱となり下がるであらう。

### ハ、日本労働組合會議の統一

日本における最大の労働者の組織を擁し、現實の上に着々と統一への活動を推し進め、吾が全勞は日本労働組合會議を統一への主流としてこれを支持してゐる。

然かし此の會議の中には右翼偏向の傾向を含み、やゝもすれば固定せる右翼戦線のみの一體の如き感を與へしむることがある。

かゝる傾向の發展は労働組合の運動より階級的立場を抜きと、結局においては改良主義的活動以外には出でざる結果となり、今日の切迫せる形勢の下には労働者の日常利害の擁護すらも全的になし得ざるものとなるであらう。又一方にはファツシヨ的傾向を持つものをも含むのであるが、其の大半は社會大衆黨を支持してゐる。

併して組合會議として政治的意見と、支持政黨を決定しをらざることは、組合會議の内部に幾多の排除すべき傾向を發達せしむることの餘地を残すこととなるのであつて、

## 二、統一運動の諸形態

世界における統一運動の諸形態ははばらくおき、吾國における主要なる形態並に傾向及其の運動の有する限界は次ぎのごとくである。

### 一、左翼労働組合會議結成運動

左翼労働組合と稱する總評議會、統一會議等を中心としての會議結成運動は、今直ちに結成すべき機運には達してゐない。

左翼的結成を目指しつゝあるこれ等の諸活動は、今日の形勢においては、眞に大衆的組織體たり得るものではなく少数の組織として政黨的職分を強制する過去の吾が國における誤れる活動に終るであらう。

又政黨的中立を定めたるものは、そのことのために常に内部において幾多の潮流を生じ、組織の統制は常に混乱を繰返しつゝ、終いには其の組織の壊滅若しくは一職業部門一の資本系統のみの組織として何等實力なきものに終るであらう。

### ロ、ファツシヨ労働組合の統一運動

日本労働同盟は今日ファツシヨ労働組合統一の任務を放棄してゐる。

日本産業俱樂部の活動はファツシヨ労働組合の全的統一

今日組合會議の最も弱きところの一面はこゝに存してゐる

今日以上の三つの傾向はいよゝ強まりつゝあつて、これを今日のまゝ放置するときには労働者の要望たる全線的統一を遂行し得ざる状態に至るであらう。

故に吾々は執拗に絶えざる努力によつて左の諸方針によつて全線的統一へ邁進しなくてはならぬ。

## 三、吾等の統一任務と方策

### 一、吾が同盟の統一運動

吾が全國労働は其の創立當初より戦線統一を以て主要なる任務の一とした。其の統一方針は、大右翼結成、入左翼結成を共に排除し「吾國資本主義の諸情勢の正確なる認識の上に起ち大衆の生長性に即し、一切の分裂的傾向の排除を主眼とする階級的大衆的指導精神を確立したる」全労働組合の全線的統一の方針と、其れと共に階級的入衆政黨へ凡ゆる政黨分野を統一し、過去に於ける統一運動が、政治的意見、政黨的立場によつて攪亂せられたるが如き形態を清算し、以つて統一の基礎を確立すべきことの方針を以て終始一貫固ひ來たつたのである。

このために吾が同盟は組合會議に加盟し、會議の擴大強化を計り「名實共に組合戦線統一の主體として完成する」